

「使用上の注意」の改訂に関するお知らせ

プロトンポンプインヒビター

2023年10月

日本薬局方 ランソプラゾール腸溶性口腔内崩壊錠

ランソプラゾールOD錠 15mg「JG」

ランソプラゾールOD錠 30mg「JG」

プロトンポンプインヒビター

日本薬局方 ランソプラゾール腸溶カプセル

ランソプラゾールカプセル15mg「JG」

ランソプラゾールカプセル30mg「JG」

LANSOPRAZOLE

製造販売元
JG 日本ジェネリック株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

販売元
JG 日本ジェネリック株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

製造販売元
大興製薬株式会社
埼玉県川越市下赤坂560番地1

このたび、上記の弊社製品につきまして、「使用上の注意」の一部を改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。ご使用に際しましては、改訂後の各項を十分ご参照くださいますようお願い申し上げます。

また、今後とも弊社製品のご使用に当たって、副作用等の治療上好ましくない事象をご経験の際には、弊社 MR までできるだけ速やかにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容(抜粋)

(改訂箇所： _____ 部)

改訂後	改訂前																											
<p>【使用上の注意】</p> <p>3.相互作用</p> <p>本剤は主として肝薬物代謝酵素 CYP2C19 又は CYP3A4 で代謝される。</p> <p>また、本剤の胃酸分泌抑制作用により、併用薬剤の吸収を促進又は抑制することがある。</p> <p>(1)併用禁忌 (併用しないこと)</p> <p>〈変更なし〉</p> <p>(2)併用注意 (併用に注意すること)</p> <table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="3">〈変更なし〉</td></tr><tr><td>イトラコナゾール チロシンキナーゼ阻害剤 〈以下、変更なし〉</td><td>〈変更なし〉</td><td>〈変更なし〉</td></tr><tr><td>酸化マグネシウム</td><td>酸化マグネシウムの緩下作用が減弱するおそれがある。</td><td>本剤の胃酸分泌抑制作用による胃内 pH 上昇により酸化マグネシウムの溶解度が低下するためと考えられる。</td></tr><tr><td colspan="3">〈変更なし〉</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	〈変更なし〉			イトラコナゾール チロシンキナーゼ阻害剤 〈以下、変更なし〉	〈変更なし〉	〈変更なし〉	酸化マグネシウム	酸化マグネシウムの緩下作用が減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用による胃内 pH 上昇により酸化マグネシウムの溶解度が低下するためと考えられる。	〈変更なし〉			<p>【使用上の注意】</p> <p>3.相互作用</p> <p>本剤は主として肝薬物代謝酵素 CYP2C19 又は CYP3A4 で代謝される。</p> <p>また、本剤の胃酸分泌抑制作用により、併用薬剤の吸収を促進又は抑制することがある。</p> <p>(1)併用禁忌 (併用しないこと)</p> <p>〈省略〉</p> <p>(2)併用注意 (併用に注意すること)</p> <table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="3">〈省略〉</td></tr><tr><td>イトラコナゾール チロシンキナーゼ阻害剤 〈以下、省略〉</td><td>〈省略〉</td><td>〈省略〉</td></tr><tr><td colspan="3">〈省略〉</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	〈省略〉			イトラコナゾール チロシンキナーゼ阻害剤 〈以下、省略〉	〈省略〉	〈省略〉	〈省略〉		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																										
〈変更なし〉																												
イトラコナゾール チロシンキナーゼ阻害剤 〈以下、変更なし〉	〈変更なし〉	〈変更なし〉																										
酸化マグネシウム	酸化マグネシウムの緩下作用が減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用による胃内 pH 上昇により酸化マグネシウムの溶解度が低下するためと考えられる。																										
〈変更なし〉																												
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																										
〈省略〉																												
イトラコナゾール チロシンキナーゼ阻害剤 〈以下、省略〉	〈省略〉	〈省略〉																										
〈省略〉																												

(2023年10月改訂)

2. 改訂内容

相互作用相手薬との整合のため、「併用注意」の項へ、「酸化マグネシウム」を追記いたしました。

3. DSU掲載

使用上の注意改訂情報は、2023年11月発行の「医薬品安全対策情報 (DSU) No.321」に掲載されます。

今回の使用上の注意改訂等を反映した電子化された添付文書情報につきましては、以下よりご確認ください。

- 日本ジェネリック株式会社 医療関係者向けサイト (<https://medical.nihon-generic.co.jp/>)
 - 医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>)
 - 「添文ナビ[®]」にて個装箱等に表示の GS1 バーコードを読み取る。
- 「添文ナビ[®]」のインストールや使用方法は日薬連のホームページをご覧ください。
(<http://www.fpmaj.gr.jp/Library/eMC/>)

お問合せ先：日本ジェネリック株式会社
安全管理部 TEL：03-6810-0502

ランソプラゾール OD 錠 15mg/30mg「JG」



(01)14987792215016

ランソプラゾールカプセル 15mg/30mg「JG」



(01)14987792271418

J-JG053-010/J-DK006-009